

計画区分		4 医療と介護が一体となった在宅サービスの推進						
NO	目指す姿	課題	取組の方向性・ 考え方・手段	取組			担当	備考
				R6実績	R7	R8		
1	多職種連携のための場づくり	医療・介護の専門家がそれぞれの特性や専門性を相互に理解しあい活かし切る意識が欲しい 本当の意味での地域ケア会議が開催できていないので、地域包括ケアの枠組みで支援等を行えていない	地域ケア会議（多職種連携研修会等を含む）の開催	町としての自立支援の考え方・方向性をつくる専門研修への参加を通じ考え方と方向性を検討した。多職種の参加する地域ケア会議を通じて、方向性や考え方、手法についての対話を行った。地域ケア会議開催	地域ケア会議（年4回開催）から出た意見で、参加者の中から主体的な活動や必要なインフォーマルサービスの提案が生まれている	地域ケア会議（年4回開催）から出た意見で、参加者の中から主体的な活動や必要なインフォーマルサービスの提案が生まれている		○町としての介護予防の考え方 「その人のふつうの暮らしを守り支える。そのために必要なものを見つけ、つなぎ、なければ作り出す」 ○介護予防施策の方向性「健康な状態を維持する・つまずきがあっても自分の力で元の暮らしに戻す支援を行う」 【地域ケア会議の実績】 年4回開催
2	専門職の力を最大限生かす環境づくり支援	専門職が専門外の仕事や事務などで専門分野の力を十分発揮しきれていない	地域ケア会議の開催/医療介護連携検討会/ケアマネ・事業所連絡会	地域ケア会議を3回実施 医療介護連携検討会2回実施 ケアマネ・事業所連絡会（多職種連携検討会・人生会議・電子@連絡帳活用方法など）	地域ケア会議から出た意見で、参加者の中から主体的な活動が生まれる	地域ケア会議から出た意見で、参加者の中から主体的な活動が生まれる		
3	医療圏で考える広域の情報連携の仕組み検討	医療・介護関係者の円滑な情報共有・連携体制がないが・・・ ・町として必要性が理解できない ・事業所にどう有益かを示せない ・実際に現場が現状どうなっていて、困り感があるのか、やっているのか、改善したいと思っているのかかわからない。	電子@連絡帳導入検討を題材に、わが町にとって必要な電子連携の方向性を見出すこと	電子@連絡帳導入検討の是非が判断できる材料をそろえ、医療福祉としての方向性を決めること ➡医療介護事業所の理解により、9月より電子連絡帳を試験導入し、伊那市・南箕輪村と広域連携も開始	ペーパーレス、情報連携により「専門職の仕事が効率化し、働く時間を延ばせている」姿をがより実現するためのステップを。	今後、専門職が減少する中で効率的に連携しながら、わが町の医療圏における医療介護が効率的に提供できる情報連携がきている		医療に情報連携加算 R6.6改定より追加 伊那市・南箕輪村導入＆協定R6.7 伊那市電子連絡帳視察5/23 箕輪町電子連絡帳導入8/30 広域連携9/6 新規申請におけるケアマネとの書類のやり取りを全て電子連絡帳で
4	その人らしい人生の終焉を迎える仕組みづくり	「今後の人生をどう生きていきたいか」「自宅で最期を迎えたい」希望を叶える、終末期の延命などの意思決定支援の仕組み（権利擁護との重複）	人生会議を実施	ケアマネ・事業所連絡会75歳鶴亀講座／民生委員会／目につく量を増やす／介護者や子世代に対するPR （11月広報 11月30日 いい看取りの日 終活セミナー（公民館）対象を介護者・子世代に）	加齢により意思表示が難しくなることを理解し、そのために家族で話し合っている／個人で考える・誰かと話せる環境がある →ケアマネ・事業所連絡会における多職種連携、広報、終活セミナー、鶴亀講座	人生会議実施率50%		人生の最後をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがある（人生会議実施率） 元気R4 35.9% おひとりさまの急増により、身寄りがないことを前提とした支援の在り方、ACPの在り方のシフト

○計画に定める成果指標のうち本事業に関連のあるもの

NO	内容	回数	備考
4	住民向け普及啓発	16回	終活セミナー3/15 鶴亀講座12回 広報2回 出前講座（KOA含む）
1	専門職向け研修会	7回	薬剤師会（2回）、作業療法士、生活支援コーディネーター、ケアマネ会・事業所連絡会（2回）、接骨院
4	救急キット配布数	1,661人	更新者628人 所持率：高齢者の22.4%

○その他取組の実績

NO	内容	回数	備考
4	人生会議実施率	-	2022年高齢者実態調査（元気高齢者） 35.9%
4	自宅+施設死亡率	-	R5年 自宅25.5% 施設15.5% 病院56.8%

④ その他

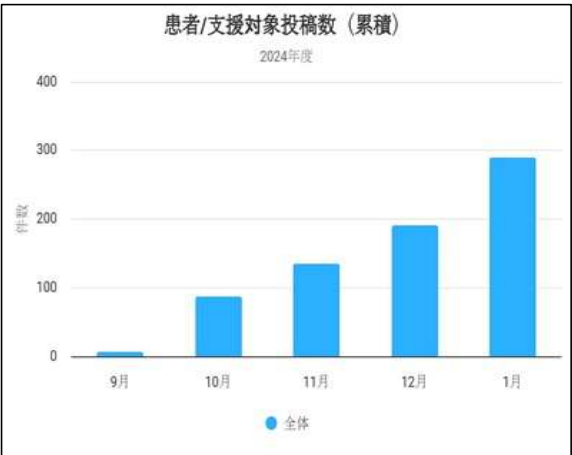
事業が分かりやすく伝わる工夫として、イラストでの事業紹介を広報「みのわの実」で実施しました。



人生会議 広報R6.11月号掲載



救急医療情報キット 広報R6.12月号掲載



箕輪町電子@連絡帳活用状況 登録患者数66人